

済生会山形済生病院で診療を受けられた皆様へ

当院では、下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用、または提供されることを希望されない場合は、下記の間合わせ先にお問合せください。

管理番号	629
研究課題名	やむを得ず身体拘束を要する患者に対する褥瘡予防の取り組み ～体幹抑制帯使用時の工夫～
本研究の目的	体幹抑制帯を使用せざるを得ない患者において、抑制部位の圧迫・摩擦・ずれによる褥瘡発生を防ぐため、吸水拡散・体圧式マルチパッドを導入し、その有効性を検証するものである。A病院では過去4年間に9件の抑制帯関連褥瘡が発生しており、従来のケアが看護師の経験に依存していたことが課題であった。マルチパッドを用いたケアの標準化により褥瘡予防効果を高め、患者の安全とQOL向上、さらに治療負担や看護業務の軽減につなげることを目的とする。
対象者	令和7年9月から令和8年1月の期間に、医師の指示により体幹抑制帯の使用が必要と判断された入院患者
研究代表者	社会福祉法人恩賜財団済生会山形済生病院 看護部 皮膚・排泄ケア認定看護師 村山 智美
当院の研究責任者	社会福祉法人恩賜財団済生会山形済生病院 看護部 皮膚・排泄ケア認定看護師 村山 智美
実施(予定)期間	令和7年9月から令和8年1月まで
研究方法	電子カルテより情報を抽出し、有効性を検討する
研究に用いる 試料・情報の種類	電子カルテより、医師の指示により体幹抑制帯の使用が必要と判断された入院患者の情報
外部への試料・ 情報の提供・公表	学術集会で発表予定
個人情報の取扱い	匿名性を保証しデータは研究以外には使用しないこと、また対象者には不利益にならないように配慮する。
利益相反	開示すべき利益相反はなし
お問合せ先	社会福祉法人恩賜財団済生会山形済生病院 看護部 皮膚・排泄ケア認定看護師 村山 智美 023-682-1111